

2026年7月7日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

国内クラウド事業者初『ConoHa VPS byGMO』が AI エージェントから 自然言語で VPS を操作できるリモート MCP サーバーを提供開始 ～Claude など主要 AI エージェントからサーバー操作が可能に～

GMO インターネットグループの GMO インターネット株式会社（代表取締役 社長執行役員：伊藤 正 以下、GMO インターネット）が提供する『ConoHa VPS byGMO』（URL：<https://vps.conoha.jp/>）は 2026 年 7 月 7 日（火）より、国内クラウド事業者として初めて（※1）、リモート MCP（Model Context Protocol）（※2）サーバーの提供を開始しました。MCP に対応した AI エージェントから自然言語で指示することで、VPS の作成・停止・削除・設定変更など、サーバーの管理・運用操作が可能になりました。これにより開発者やサーバー運用者は、複雑なコマンドや API の仕様を意識することなく、検証環境の構築、サーバーの状態確認、不要なリソースの整理、セキュリティ設定の変更などをよりスムーズに行えます。GMO インターネットは、『ConoHa VPS byGMO』でのリモート MCP サーバーの提供を通じて、AI エージェント時代にふさわしい、より直感的で効率的なサーバー管理体験の実現を目指します。



（※1）リモート MCP サーバーの提供開始について、VPS を提供する国内クラウド事業者が公表する情報をもとに自社調べ（2026/7/7 時点）。

（※2）MCP（Model Context Protocol）は、AI エージェントが外部のツールやサービスと連携するためのオープンな標準規格です。MCP に対応した AI エージェントは、本規格を介して外部の API やデータにアクセスし、操作を実行できます。

【提供開始の背景】

VPS は、Web サイトやアプリケーションの運用、開発環境の構築、企業システムのインフラ基盤など、幅広い用途で利用されています。しかしながら、サーバーの作成やネットワーク設定、セキュリティグループの管理、リソース監視といった日常的なインフラ操作には、管理画面での手作業やコマンドライン操作、API に関する知識が必要となり、利用者の知識や経験に依存する部分が大きい状況でした。

一方、近年は開発・運用の現場で生成 AI や AI エージェントの活用が広がり、サーバーの管理・運用においても、AI エージェントに自然言語で要望を伝えるだけで、必要な操作を支援・実行するという新しいワークフローへの期待が高まっています。『ConoHa VPS byGMO』では、2025 年 7 月に国内クラウド事業者が提供する VPS サービスとして初めて^(※3) MCP に対応したベータ版機能を公開し、AI エージェントとの対話によるサーバー運用を可能にしてきました。

今回提供するリモート MCP サーバーは、ローカル環境への MCP サーバーのインストールを不要とし、接続設定の追加だけで即日利用できる環境を実現しました。具体的には、AI エージェントに「現在あるサーバーの一覧を表示して」「検証用サーバーを停止して」「セキュリティグループに HTTPS を追加して」「Ubuntu 24.04 でメモリ 1GB のサーバーを作成して」など指示し、対話をしながら VPS 管理を行えるようになります。

(※3) 国内クラウド事業者初！『ConoHa VPS byGMO』が MCP に対応～AI との対話で、VPS サーバー環境構築のパイプコーディングを可能に～ (<https://internet.gmo/news/article/67/>)

【『ConoHa VPS byGMO』のリモート MCP サーバーについて】

『ConoHa VPS byGMO』のリモート MCP サーバーは、AI エージェントから公開 API を自然言語で操作できます。HTTP / Streamable HTTP のリモート MCP に対応した MCP クライアントであれば、MCP サーバーを利用者の端末上にインストールすることなく、接続設定を追加するだけで利用できます。

■ 主な特長

1. MCP サーバーのインストール不要

利用者は、MCP 対応 AI エージェントに「ConoHa VPS MCP」の接続設定を追加するだけで利用を開始できます。ローカル環境での MCP サーバーのインストールや起動管理が不要なため、導入時の負担を軽減します。

2. AI エージェント側に API 認証情報を保存せずに利用可能

ConoHa アカウントによる認証・認可を通じて利用できるため、AI エージェント側の MCP 設定ファイルに ConoHa API パスワード、Keystone token、tenant ID などの認証情報を保存する必要がなく、セキュアな環境で利用できます。

3. 完全日本語対応

ツール説明、応答、エラー内容などを日本語で扱えるため、「サーバー一覧を表示して」「このサーバーを再起動して」「HTTPS 用のポートを追加して」といった自然な表現で操作できます。

4. 主要 AI エージェントに対応

Claude(Web 版)、Claude Code、Claude Desktop、ChatGPT、Codex CLI、GitHub Copilot など、主要な MCP 対応 AI エージェントでの利用を想定しています。また、HTTP / Streamable HTTP のリモート MCP に対応するクライアントであれば、上記以外の AI エージェントでも利用できます。

5. VPS 管理に必要な主要操作をカバー

サーバー操作、ネットワーク・セキュリティ設定、SSH キーペア管理、ボリューム管理、プラン・イメージ情報の取得、CPU 使用時間やディスク I/O の取得、スタートアップスクリプトの活用など、VPS 管理に関わる主要な操作に対応します。

6. 削除など重要な操作では確認を促す設計

サーバー削除など、実行後に元に戻せない操作については、ツール実行時に明示的な確認を求める設計としています。利用者は、AI エージェントが提示する操作内容、対象リソース名、ID を確認したうえで実行できます。

【対応する主な操作】

カテゴリ	主な対応操作
サーバー	一覧取得、詳細取得、作成、削除、起動、停止、強制停止、再起動、リサイズ、リモートコンソール URL 発行
プラン・イメージ	フレーバー一覧取得、イメージ一覧取得、スタートアップスクリプト一覧取得
SSH キーペア	一覧取得、作成、削除
ボリューム	一覧取得、作成、更新、削除、サーバーへのアタッチ、ボリュームタイプ一覧取得
ネットワーク	IP アドレス一覧取得、ポート一覧取得、ポート更新
セキュリティ	セキュリティグループ、セキュリティグループルールの一覧取得、詳細取得、作成、更新、削除
利用状況	CPU 使用時間グラフ取得、ディスク I/O グラフ取得
スタートアップスクリプト	公開 URL からのスクリプト取得、Base64 エンコード、サーバー作成時の user_data 生成支援

- ・ ConoHa VPS API および OpenStack API のすべての操作に対応するものではありません。
- ・ Object Storage 系の操作には対応していません。

【利用イメージ】



【料金について】

リモート MCP サーバー自体の利用料金は無料です。ただし、リモート MCP サーバーを通じてサーバーの作成、起動、リサイズ、ボリューム作成などを行った場合は、『ConoHa VPS byGMO』の通常料金が発生します。また、Claude など、各 AI エージェントの利用料金は、それぞれのサービス提供元の料金プランに準じます。

【今後の展開】

GMO インターネットは、『ConoHa VPS byGMO』におけるリモート MCP サーバーの提供を通じて、開発者やサーバー運用者が AI エージェントを最大限に活用できる、次世代のサーバー運用・管理体験の実現を推進してまいります。

また、『ConoHa VPS byGMO』では、サーバー環境をコードで構築・管理できる「Terraform ConoHa VPS Provider」^(※4) も提供しています。AI エージェントとの対話で検証環境を構築し、構成が固まった段階で Terraform によりコード化・再現することで、概念実証から本番構築までを一貫して効率化できるワークフローの実現を支援します。

GMO インターネットは今後も、AI 時代にふさわしいサーバーインフラの開発・提供に取り組み、開発者やサーバー運用者がより本質的な業務に集中できる環境づくりに貢献してまいります。

(※4) GMO インターネットの『ConoHa VPS byGMO』 「Terraform ConoHa VPS Provider」を提供開始 ～国内 VPS 初！コードでサーバーなどの基盤環境を構築可能に～ (<https://internet.gmo/news/article/156/>)

【「ConoHa byGMO」について】 (URL : <https://www.conoha.jp/>)

「ConoHa byGMO」は、国内ホスティングシェア No.1^(※5) を誇る GMO インターネットグループのホスティングサービスで、ブログや HP 作成に最適な国内最速^(※6) レンタルサーバー『ConoHa WING』をはじめ、よりサーバーを自由にカスタマイズ・構築することが可能な『ConoHa VPS byGMO』、Windows OS をご利用される方向けの『ConoHa for Windows Server』、ゲームテンプレートが無料で使えるゲームユーザー向けの『ConoHa for GAME』、ブラウザだけで本格的な AI 画像生成を楽しめる『ConoHa AI Canvas』など、お客様のご利用目的に応じて最適なサービスをお選びいただけます。初期費用無料で"簡単"、"使いやすく"を徹底的に追求したサービスとなっており、サーバーを初めてご利用いただく方から個人事業主、法人まで幅広くご利用いただいております。



(※5) 業界のシェアは ipinfo.io をもとに算出しております。ipinfo.io は、IDB LLC 社が運営する IP アドレスに紐づいた地理情報などを確認できるウェブサイトです。

(※6) 2026 年 5 月時点、自社調べ。国内シェア 90%以上を占めたトップ 10 サービスにおいて、各サービス最下位プランのサーバー処理速度を、負荷テストツール「Apache Bench」「h2load」で 5 回計測した平均値を比較。国内シェアは、Webhosting.info および DomainTools をもとに算出。

以上

【報道関係お問い合わせ先】

●GMO インターネット株式会社

広報担当 酒井

TEL : 03-5728-7900

お問い合わせ :

<https://internet.gmo/contact/press/>

●GMO インターネットグループ株式会社

グループ広報部 PR チーム 川縁

TEL : 03-5456-2695

お問い合わせ :

<https://group.gmo/contact/press-inquiries/>**【サービスに関するお問い合わせ先】**

●GMO インターネット株式会社

ConoHa 事業部 松井

お問い合わせ : info@conoha.jp**【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://internet.gmo/>)**

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 4784)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役 社長執行役員 伊藤 正
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ドメイン登録・販売 (レジストラ) 事業 クラウド・レンタルサーバー (ホスティング) 事業 インターネット接続 (プロバイダー) 事業 ■インターネット広告・メディア事業
資 本 金	5 億円

【GMO インターネットグループ株式会社】 (URL : <https://group.gmo/>)

会 社 名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	持株会社 (グループ経営機能) ■グループの事業内容 インターネットインフラ事業 インターネットセキュリティ事業 インターネット広告・メディア事業 インターネット金融事業 暗号資産事業
資 本 金	50 億円